社会 | 価値向上のために

研究開発への取り組み

□基本的な考え方

イノアックグループは、高分子製品の研究開発に焦点を 当て、ハイテク技術の開発において最も価値ある2つの資源 である創造的な技術者および最先端の評価機器を活用して 研究を行っています。グローバルな技術集団のリーダー として、また原料メーカーおよび顧客とコラボレーション して、優れた付加価値をご提供します。

○市場に併せた研究開発拠点

従来の日本発信型の技術開発では海外の圧倒的な スピードにはついていけないため、アメリカのR&D拠点の 移設と拡充、中国にもR&D拠点の整備を進めます。リー ジョンごとの市場ニーズを的確にとらえ、現地原料を活用 した配合設計、製品化を推進し、現地発信型の技術開発 へ転換、グローバルな競争力の強化に努めていきます。

○ イノベーションのマネジメントシステム

全社の技術部門の役割を明確にするとともに、市場動向、 顧客ニーズ、自社シーズなどの情報を一元管理する部門 を創設し、研究開発から製品化までをタイムリーに効率よく

行う仕組みを開始しま した。研究開発の推進 においては、ステージ ゲートを設け、推進の 可否やリソースの充当 など、適宜判断できる 什組みを取り入れて います。



●基盤となる強み

当社はウレタン、ゴム、プラスチックといった高機能材料 の総合メーカーとして、長年の研究開発によって培われた 技術やノウハウをもって、素材の配合、コンパウンドから 設計および加工までを一貫して行える強みをもっています。 さらに、高機能材料と発泡、成形技術を組み合わせることに よって、ニーズにマッチした多種多様な製品開発が行える 機能を備えています。

○ 付加価値の創出

顧客からの要請に単に対応するだけでなく、対話を通じ、使用 目的、用途、困りごとなどを確認しながら、さらなる機能向上、機能 追加の提案を行っています。今後成長が期待できる電動車のバッ テリー関連素材について、ウレタン、ゴム素材を軸とした素材開発

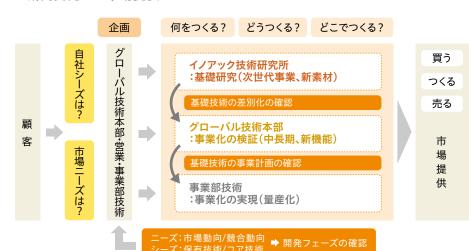
社 会

に注力しています。これらの素材に ついて具体的な用途例を提案し、 当社のシーズを提案、付加価値の 提案にも努めています。



各種バッテリー素材

●研究開発から市場提供へのフロー



·ズ:保有技術/コア技術

■研究·開発拠点



日本 株式会社イノアック技術 研究所(ITC)



中国 SHANGHAI INOAC POLYMER PRODUCTS CO.,LTD.



北米 INOAC USA, INC.



タイ INOAC (THAILAND) CO., LTD.

イノアック技術研究所

既存の事業体の枠にとどまらない、 新規性の高いテーマを選定し、未来を 見据えたシーズ開発を推進していま す。市場のニーズをさらに反映できる 人材体制とするため、直近ではグロー バル技術、事業部技術の人事ローテー ションを積極的に取り入れ、顧客の ニーズにより合致した基礎研究を推進 する体制構築に着手しています。

グローバル技術本部

さまざまな業界のニーズを吸い上げ て、それに対応した素材、製品の研究 開発を行っています。また、材料開発に とどまらず、モノづくり(工法開発)や、 分析技術、評価技術の深耕にも取り組 んでいます。さらには、これらの開発成 果を知的財産として権利化するため に、組織内に知的財産部を配しており、 有形・無形の財産創出に貢献していま す。一方で産学連携強化のため、国立 研究開発法人新エネルギー・産業技術 総合開発機構(NEDO)に人材を派遣 し、カーボンニュートラル社会の実現 を見据えた地中熱パイプの広報活動 に取り組んでいます。

研究開発への取り組み

□知財戦略

製品の開発における特許の取り組みでは、年間300件の出願目標を設定しています。また重点製品の開発では、1つの製品に対して複数の特許を集中して保有し、競争力強化に取り組んでいます。

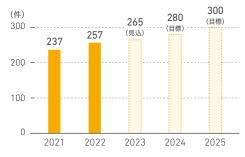
海外においては、現地でのニーズにスピード感をもった 対応が求められるなかで、研究開発部門をグローバルに 展開。それにともない、特許出願を現地でスムーズに行え るサポート体制の整備を進めています。

♪ オープンイノベーション

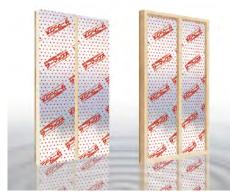
中長期的な基礎開発を中心に、大学などとの共同開発を進めています。より専門性の高い研究分野の新しい視点やメカニズムを吸収することで、開発力の強化につなげています。進捗管理については、年2回の社内報告会を行い、研究の進度と方向性を確認しています。また、学会発表への参加により、社会に向けて研究成果の共有を図りながら、先端技術を深めています。

産学連携の一例として、住宅断熱メカニズムの解明研究があります。CO2削減、地球温暖化対策として、高性能な断熱材「サーマックス」が関心を集めています。この断熱材を住宅・工場へ広く展開するため、建物の構造からこの断熱材の優位性を探り、広く社会へ貢献する活動を進めています。また、工務店他施工業者様への採用事例のセミナーも東北地方を中心に開催しています。

年間特許出願件数



高性能断熱材「サーマックス」の開発





各事業分野での技術開発事例

環境

高機能材事業での対応「SOFWA®(ソフワ)」

SOFWA®は、薄さ2.0~5.0mmで自重の約20倍の水を吸収する、高い吸水性能を特徴とする長尺ウレタンフォームです。購入した他社原料ではなく、ゼロから原料を独自に合成しています。医療・



衛生用品において、創傷被覆材やオムツ、生理用品の吸収体など、 安全性・クリーン性を求める用途への展開が期待できます。

寝具・家具事業での対応「ファセットケアマットレス」

床ずれの発生にもつながる、低 反発マットの過度な沈み込みに よる寝返りが打てない課題に対 し、特殊なスリットにより体圧を分 散し床ずれを予防する「ファセット ケアマットレス」を開発。3層構造の

反発性の異なるウレタンを組み合わせ、過度な 沈みを抑えて寝返りを打ちやすくしています。

自動車関連事業での対応

自動車メーカーとの関係が強い当社では、CASE、MaaSといった変化への対応を重要なテーマとして位置づけております。電動化においては、軽量化、吸音、遮音、断熱、放熱などの機能が求められます。当社の強みである、配合技術、発泡技術を駆使し、自動車メーカーの求める製品開発に取り組んでいます。また、生産準備の進捗をチェックする機能として「生準審査会」を設けるだけでなく、生産準備初期段階から図面品質を向上させ、設計段階での目標設定と工程設計での品質向上により、新製品立ち上げの短期化に努めています。

品質向上への取り組み

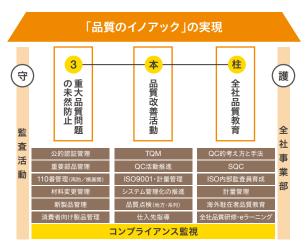
□基本的な考え方

当社は「品質方針」に基づき、顧客と品質を第一に考えた モノづくりを行っています。また、品質コンプライアンスの 徹底と継続的改善による「うれしい品質づくり」に努めて います。安心・安全な製品の品質を保証し、ご満足いただ ける商品やサービスを提供するために、ISO9001を基本 とした総合的なマネジメントシステムを導入。顧客と連携 して、さらなる品質向上に取り組んでいます。

品質基本方針

- 1.お客様第一、品質第一のモノづくり
- 2.法令や規制、お客様との取り決め遵守
- 3.時代のニーズに応える継続的改善

□ 品質保証の総合的なマネジメントシステム



当社は「品質のイノアック」を体現すべく ①重大品質問題 の未然防止(2)品質改善活動(3)全社品質教育を3本柱にし、 グローバルでの全社連係や、定期的な監査活動の下、 さまざまな標準化と継続的な仕組みのアップデートに より、絶えず品質を向上させています。

CONTENTS

● 重大品質問題の未然防止

・公的認定・認証の管理

当社製品を公的認定・認証に申請する際には、品質に おける管理体制を統括するグローバル品質保証本部に 登録を行い、申請内容と製品・工程等に相違ないかを 確認しています。また、登録後も当部署による定期的な監査 を実施し、継続的遵守を担保しています。

・ 重要部品の管理

機能性や安全性などにおいて、社会的責任がより高い 重要部品は、グローバル品質保証本部にてリスト管理を 行い、定期的に監査を実施することで、重大な品質リスク を未然に防止。必要に応じて品質や業務の改善も行って います。

·品質110番制度

重要な品質不具合は、拠点からのマイナス情報発信後 24時間以内に経営者に伝達されるよう「品質110番 制度」を制定しています。

情報配信後は、再発防止策の妥当性、ならびに定着状態 と効果の確認をグローバル品質保証本部が実施します。 また翌年の重要部品対象とし、グローバル品質マネジメント 監査で運用状況を確認します。

重要な品質不具合とは(1)リコールにつながるもの(2)社会 的に問題になるもの ③人体に影響のあるもの ④事業部 としての影響度の高いものと定義しています。

材料変更の管理

重大品質不具合につながるリスクの高い材料変更で は、グローバル技術本部、担当事業部門の技術・品証責任 者が審議し、グローバル品質保証本部が社内承認をする 仕組みを構築。顧客への変更提案において、事前に品質 問題のリスクを排除する強固な管理体制を設けています。

・新製品の管理

新技術・新材料・新プロセス・新用途のいずれかに該当 する製品に対しては、社長を始めとしたメンバーによる 上市可否審査を実施して、重大品質不具合の未然防止に 努めています。

審査メンバー

社長、グローバル技術本部、グローバル品質保証本部、 該当部署の技術・品証・営業の責任者・担当者

審查内容

材質、製品特性、製品性能、構造、外観、類似品比較、製品 安全性、製造の安全性、品質リスク

品質向上への取り組み

・消費者向け製品の管理

当社が設計、製造して、消費者へ直接提供する製品については、安心安全にご使用いただけるよう、企画の段階からグローバル品質保証本部主導の審査会を開催し、厳格なリスク検証に基づく承認を経て開発をスタートさせる仕組みを採用しています。

その後も量産移行後の点検に至るまで、管轄事業部と連係して品質を保証します。



2品質改善活動

・TQM活動の推進

当社では、社長のリーダーシップのもとに、すべての社員が、すべての部門で、すべての段階において、一丸となって顧客に満足いただける、「うれしい製品やサービス」の提供を目指しています。

人・仕事・仕組みを効果的かつ効率的に成長させて、全員参加を土台にした「人と組織と開発・製造力の向上」に邁進しています。

・QCサークル活動

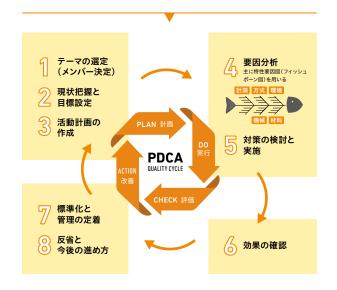
当社では、品質改善活動を自発的に小グループで行うQC(クオリティ・コントロール)サークル活動を1965年頃

から行っています。この活動を世界に広め、グループ全体 の活動を共有するため、1985年から「QC・改善世界 大会」をグローバル規模で開催しています。

2020年以降は、新型コロナウイルス感染症の影響を受け、一同に会した発表会は自粛していましたが、2023年度は、いよいよ海外チームの招待も再開し、7カ国10チームと日本の3チームを加えた13チームで世界大会を開催しました。

大会を同時通訳のネット配信をすることで、国内外の 全拠点で活動推進する方々へのQC改善の機運を高める 大会とし、この活動の推進を通して、顧客と社会に貢献 できる人材づくりを引き続き進めていきます。

QCサークル活動の流れ



6 全社品質教育

環境

・人材育成の取り組み

製造業にとって重要な品質における基礎知識の習得を 新入社員の必須研修にしており、各階層ごとに必要なカリキュ ラムを設定して、社員の品質知識向上にも努めています。

2023年度からはeラーニングの取り組みも始め、時間を問わず同じ内容を繰り返し学習できる「品質ライブラリ」を公開しています。

さらに、QC検定の受験を奨励・支援し、会社全体の レベル向上を推進しています。

○グローバル品質マネジメント監査

社会的信用と信頼の失墜につながる重大品質問題の未然 防止を目的として、国内外の生産拠点における重要品質部品 や工程、ならびに品質マネジメントシステム全般を対象とし たグローバルメネジメント品質監査を毎年実施しています。

対象拠点

日本国内・タイ・ベトナム・インドネシア・韓国・台湾・中国の各拠点

対象製品

樹脂・ゴム・ウレタン等、イノアックの主力素材と加工部品・ マットレス製品などの生産工程および工場





CSR REPORT 2023 20

人権配慮

□基本的な考え方

当社では、世界人権宣言や国際的に明示されている労働者の 基本的な権利を尊重し、強制労働や児童労働などの人権侵害に 加担せず、人権尊重に取り組んでいます。

○ 人権尊重にかかわる社長声明

当社社長が2023年8月1日全社員に向けて「人権尊重にかかわる社長声明/トップステートメント」を発信しました。

近年、社会課題において、気候変動だけでなく人権への配慮の必要性が高まっています。イノアックグループにおいても人権課題を整理して、業務の全般において取り組んでいくこととします。全社員が以下に記す人権尊重のための考え方に則り、しっかりと人権尊重を行う気概を持つことを願い、私自身率先して取り組みを推進していきます。

人権尊重のための考え方

当社は、事業を行う過程で、直接または間接的に人権に影響を及ぼす可能性があることを認識し、「国際人権章典」や「労働における基本的原則及び権利に関する国際労働機関(ILO)宣言」をはじめとする人権に関する国際的な規範を支持し、自らの事業活動に関わる全ての人の人権を尊重する責任を果します。

国籍、性別、年齢、信条、宗教、人種、民族、性的指向、障がい、配偶者や子の有無などを含むいかなる理由においても差別を認めず、パワーハラスメント、セクシュアルハラスメント、同調圧力等あらゆる形態のハラスメントや個人の尊厳を傷つける行為を許しません。また「強制労働」「児童労働」を禁止し、結社の自由を保障します。そして従業員が安全・健康な職場で勤務ができる環境を整えます。

2023年8月1日 株式会社イノアックコーポレーション 代表取締役社長 野村 泰

人材育成

□基本的な考え方

当社では、企業存続における礎は多様な人材であるという理念を掲げています。一つの事業に特化することなく、多彩な製品、サービスをつくり出し、社会に貢献する企業体。これを構築する社員一人ひとりの個性を尊重し、迅速な決断と行動で、活気と個性に満ちたグローバル集団を形成しうる人材の育成を目指します。

●一人ひとりの「志と意欲」を引き出す人材開発

すべての社員が「自ら成長する」、「部下を育成する」ことを目指し、2年前に人事制度が変わりました。イノアックの人材開発では、その理念を浸透させ、一人ひとりの行動がより自発的・自律的に変化しスピーディーに成長できる組織となるために、大切にしていることがあります。それは、働く社員の仕事への『志・意欲』を引き出し、高めていくことです。期待される人材像に対して、一般職から経営幹部までが自身の役割とイノアックというフィールドで「成し遂げたいこと」=『志』を重ね合わせ、能力を高め実践に移していける教育を設計しています。一人ひとりの仕事への意欲を高め、自律的に成長できる組織を目指します。

プレイヤー研修の様子



ブロックを使って、自身 の職場環境を表現。 今の自分の位置づけ、 求められている役割 を俯瞰する





自身、職場、関係部門、社会と 段々に自身を取り巻く環境を 俯瞰して、自身の役割をとらえ なおす

○ グローバル人材育成の取り組み

当社では、さまざまなプログラムを通じてグローバル人材の育成に取り組んでいます。「海外トレーニー制度」は、海外でのOJTを通して、異文化の中で成果をあげるプロセスを体得することを目的としたプログラムです。多種多様な業種の若手社員が海外現地法人で研修し、価値観の違いや周りを巻き込むことの難しさなどに直面し、困難を乗り越えることで、大きな成長につながっています。

今年度は、新たに海外駐在要員を対象とした「異文化コミュニケーション」研修を開始し「異文化」とは何かを体験することで「海外で働くこと」を身近に感じられるよう企画しています。また、海外赴任予定の社員には、海外駐在で必要となる専門知識(経理財務、法務、品質保証、安全など)を学べる講座を開設し、事前準備を整え円滑な赴任をサポートします。

トレーニー経験社員の声

2023年1月から12月末までの1年間、アメリカニュージャージー州の工場とミシガン州の営業拠点で、主に工場工務と営業活動の研修を行いました。

トレーニー制度を通じて、現地で活動している駐在員の 方々がどのように仕事を行っているのかを目のあたりにし、 グローバルに活動するために必要な自分の課題、能力や手法 を実感しました。求められる主体性やコミュニケーションの

取り方など、米国と日本で違う点も経験することができました。海外で研修した経験を還元できるように、今後一層、国内業務にも励んでまいります。

経営企画本部 事業企画部 調査課 大工 直也



現地社員と出張先にて

CSR REPORT 2023 21

ダイバーシティ&インクルージョン

□基本的な考え方

企業理念が示す「多くの個性ある木」こそがまさに多様性であり、 当社の掲げる理念そのものがダイバーシティ&インクルージョン の基本方針の根底にあるものといえます。当社ではグローバル 人材や女性社員の積極的な活用など、さまざまな人材の雇用・育成 を通して、多様性を尊重した企業活動に努めています。

○グローバルな事業展開

当社では1930年代から海外進出を開始し、現在では14の国と地域に約70の海外工場・事業所を設けています。その過程の中で、多様な価値観や習慣、国民性を重視し、現地の人々と信頼関係を築くことで、強固なグローバルネットワークを構築しています。

●女性活用推進プロジェクト

当社では女性社員の能力を引き出して、そのスキルや知識を 業務で発揮してもらうために、積極的に活用を図るとともに、会社 へ貢献できる環境づくりを進めています。女性活躍推進法に基づき 策定した「一般事業主行動計画」では、現状の課題に対する具体 的な数値を含めた3つの目標を掲げ、さまざまな部署における 能力の発揮・キャリア形成を目指しています。

	課 題	目 標
1	労働者に占める 女性労働者の割合	20%以上まで 引き上げ
2	営業職および 技術職に占める 女性社員の割合	営業職は15%、 技術職は7%に 引き上げ
3	管理職の 年次有給取得率	一般職の年次 有給取得率と同率の 54.8%に引き上げ

ワークライフバランスの推進

♪ 基本的な考え方

社員が働きやすい環境づくり、女性の活躍推進を目的に、仕事 と家庭の両立支援に積極的に取り組んでいます。

年次有給休暇取得率の向上

2021年度から会社目標を公表し、政府目標の「年休取得率70%以上」達成に向けて取り組んでいます。

会社目標

当年度付与日数の50%以上を全社員が取得する

取り組み内容

年休計画表の作成、毎月上旬に必要取得日数の連絡、イントラネットに実績の掲載

両立支援制度一覧(施行年)

- ■配偶者出産休暇(1980年以前)
- フレックスタイム制実施(1990年)*1
- ■介護休業規程(1990年)
- ハッピーホリデー休暇(1991年)
- 育児休業規程(1992年)
- 母性健康管理の措置に関する規程(1998年)
- 半日有給休暇取得制度(2000年)
- ファミリーサポートホリデー休暇(2005年)
- 子の看護のための休暇(2005年)
- 育児休業規程改訂(休業期間延長)(2005年)
- 育児短時間勤務(2008年)※2
- ■介護休暇(2010年)
- テレワーク勤務規程(2020年)

※1 フレックスタイムは2020年4月1日から「コアタイムあり」から「コアタイムなし」に変更
※2 育児短時間勤務の期間は2022年7月1日から、子が中学校就学始期に達する(小学校6年生を終了する3月31日)までとし歴月単位で取得可能に変更

健康経営

●基本的な考え方

これまで健康管理は個人の責任ととらえられていましたが、社員が心身ともに健康的に働けるよう環境を整備することは企業の責任であるという考えが浸透してきました。職場環境の改善や健康増進により、社員一人ひとりの仕事へのモチベーションも高まり、職場全体の活性化にもつながります。

企業、社員、健康保険組合との三位一体でしっかり取り組むことで、健康リスクの低減および病気、けがを未然予防し、企業による経営と社員の健康管理の両立を目指します。

□健康増進の取り組み

会社全体では、月別重点実施事項を盛り込んだ年間計画表を 策定しています。各事業所では、推進体制を整備して「心の健康 づくり計画」を策定、実施しています。また、健康保険組合と連携 して3つの柱をもとにした社員の健康増進に取り組んでいます。

3つの柱

病気の未然予防

社員一人ひとりがより長く健康に活躍するためには、病気になってからの対応だけでなく、日ごろから病気の未然予防が大切です。人間ドック費用補助、メンタルヘルス講習、ストレスチェックなど、健康づくりへの支援を行っています。

特定健診

生活習慣病予防のための保健指導を必要とする人を選び出す ための健診です。健診項目には、内臓脂肪の蓄積状態を見るため に腹囲の計測が追加されるなど、特定保健指導の対象者を的確 に抽出するための検査項目が導入されています。

特定保健指導

特定健診によって選び出された対象者は、医師や保健師、管理栄養士 らの指導のもとに行動計画を作成し、生活習慣改善に取り組みます。

CSR REPORT 2023 22

安全衛生·防災

○ 安全の理念と基本方針

理念

社員が健康で、安全かつ快適な中で業務を遂行できる 職場づくりに基づき、全ての行動において安全衛生・ 防災を優先する。

基本 方針

- ❶職場環境を改善し危険源を除去・低減
- ②従業員全員の安全・防災意識の向上
- 労働安全衛生に関する諸法令の遵守

当社では「安全・防災は全てに優先する」を行動で示し、危険を 予知して「止める、呼ぶ、待つ」の実践を定着させる。リスクアセス メントを行い危険源の除去・低減を図る。また過去の災害に学んだ 教訓を月度重点実施事項として年間活動計画を定め、点検・教育 訓練の繰り返しと安全衛生防災活動評価による弱点の改善で、 全拠点の安全衛生防災管理レベルの向上を図っています。

KPI項目	適応範囲	2021年 実績	2022年 実績
社員の労働災害 全発生件数	国内	22件	20件
上光王什奴 ▶前年度発生件数比▲30%	海外	16件	21件
全災害度数率	国内	1.68	1.53
休業災害度数率	国内	0.76	0.46
社員の重大労働災害	国内	0件	0件
▶発生件数 0件	海外	0件	0件
事業所の火災	国内	0件	1件
▶発生件数 0件	海外	0件	0件
職場の作業環境 第II管理区分のゼロ化	国内	6職場	12職場

○全社安全衛生委員会の開催

役員自らが行動し、全員参加で取り組む安全活動として、全社の 安全・衛生・防災意識の向上と、組織風土づくりおよび再発防止を 図る安全集会を開催しています。 

役員による安全巡視

ひ安全道場で安全な人づくり

安全道場は15の体感機で「目で見て、耳で聴き、体で感じる」安全体感を経験することにより、社員が作業中に起こりうる「危険を安全に」を体感してもらいます。それにより危険感受性を高め、危険予知能力を磨き、確実に安全行動に取り組む姿勢を身につけ、災害ゼロを達成できる職場づくりに取り組んでいます。

VR(バーチャルリアリティー)システムを導入し、各拠点にVR装置を持ち込んでの出張安全体感教育を実施。

また電気を原因とした 労働災害を防止するため、低圧電気取り扱い教育を追加し、保全作業者 以外の社員にも参加をオープンにしています。



安全道場

1 電気設備の点検 測定器の使い方 2 電気配線・ 自己保持回路





3 CPR/AED実習

○ 衛生環境向上の取り組み

管理監督者が率先垂範するよう、取り組み を通して知識とスキルの向上を図っています。

- ●分煙化の徹底として、屋外喫煙室を設置
- ■環境対策として路面温度の低減やサーマックスを活用した天井のカバー工法、 加熱炉の断熱などの工場内温度の低下
- ●産業医、健康保険組合による学習・指導 会を開催
- ●熱中症・暑熱対策やWBGTの見える化、 計画的な職場環境改善
- ●作業環境の改善、管理区分Ⅲ(騒音、有機・ 特定化学物質など)職場のゼロ化
- ●新型コロナウイルス感染症対策



遮熱性舗装 (赤外線を反射して路面温度を下げる)



加熱炉の断熱



屋根カバー工法

○ 防災活動

危機管理規定に基づき行動し、自然災害などによる被害を最小限に とどめ、的確な初動対応と早期復旧を図ります。

- ●大規模地震災害
- ・建屋と設備の地震減災対策
- ・地震発生時の安全防災備品と備蓄品の備え
- ・ 地震災害発生後の対応
- ・地域への貢献としてマットレス等の備蓄
- ●火災·風雨水害対策
- ・ 生産現場の防災・防爆
- ・風雨水害対応の備えと体制の確立
- ・気象情報配信システムの活用
- ●防災教育
- ・防災館の活用と出張防災教育の実施
- ●地域との防災協定
- ・災害発生時における水やマットレス などの提供
- ・地域と共同して防災イベントの開催、 防災訓練への参加



防災館



消火訓練

・テスター・検電器・クランプメーター

特 集

サプライチェーンマネジメント

グローバルでの環境問題、人権・労働問題への対応、地球 温暖化に対するカーボンニュートラルへの取り組みや自然 災害に対するリスク管理と持続可能な社会の実現に向け、 企業の求められる活動も変化しています。

このような環境変化を受け、当社では「調達基本方針」の 改訂を行いました。また「サプライヤーCSRガイドライン」 を制定し、すべてのお取引先様に周知することで、サプライ チェーン全体としてCSRに取り組むよう進めています。

調達基本方針

- ①公平・公正で誠実な調達活動の推進
- ②お取引先様との相互信頼に基づいた パートナーシップの構築
- ③安全・品質の実現
- ④人権・労働への配慮
- ⑤地球環境への配慮
- ⑥コンプライアンス 遵守
- (7) 適正な情報管理への配慮
- ⑧グローバル最適調達の推進

●サプライヤーとのパートナーシップ強化

調達活動において、品質や価格などだけではなく、労働 条件の改善や環境配慮への取り組みなどをお取引先様と 共同で行うことがより重要となってきています。「サプライ ヤーCSRガイドラインI制定後には、従来にも増して相互 信頼に基づいたパートナーとして相互繁栄につながる活動 へのご理解と実践をお願いしていきます。

□具体的な取り組み

お取引先様64社とともにイノアック協友会を通じて、 さまざまな活動に取り組んでいます。事業継続力強化計画 や生活習慣病予防などの講演会を通じた啓蒙活動や現場 の困りごとを吸い上げ対策する活動、工程改善活動などお 取引先様と一体となり、活動を推進しています。また、改善 成果を発表するQC選抜大会への参画など、人材育成を図り ながら相互の企業レベル向上と共存共栄に努めています。

品質困りごと対策会

製品を見ながらお取引先様と適正な品質を取り決める 活動を定期的に開催しています。



サプライヤー表彰

年間を通して貢献いただいたお取引先様の表彰を行って います。



持続可能な調達活動の推進

我々の生活や環境に優しい製品・商品を提供するため、 「イノアック グリーン調達基準」を定めています。定期的に 更新し、含有化学物質の調査を実施することで環境負荷の低 いモノづくりに取り組んでいます。また、カーボンニュートラル につながる調達活動の一環として、お取引先様を訪問し省エネ 対策提案を実施しています。また、紛争鉱物や人権侵害によ る牛産品などを排除するための調査などに取り組んでいます。

社 会

□コンプライアンスの遵守

お取引先様と締結する基本取引契約書の中に、知的財産 権の侵害防止、グリーン調達の適合、反社会的勢力との関 係排除を明記することで関連法令の遵守を行っています。

また、「下請法(下請代金支払等遅延防止法)」につきまし ては、お取引先様リストを作成し、対象となるお取引先様との 取引条件の可視化を実施することで遵守を徹底しています。 購買業務に従事する部門では、下請法講習会の受講や定期 的な社内教育、法務部門による社内監査を実施することで 継続的に適切な対応ができる仕組みづくりを進めています。

取引条件の可視化

新規お取引先様

取引開始時に、下請法が適用される取引に該当するか否か を確認。取引開始前に「お支払い条件(相殺条件を含む)・ 取引基本契約書・単価決定通知書 | の取り交わしを行い、 各下請お取引先様との取り交わし状況が一元管理できる リストを作成。

継続お取引先様

取引内容の変更にともなう下請法該当取引事案が発生 する可能性があるため、定期的に取引状況の確認により リストの更新を行うことで、下請法遵守の維持管理を図る。

社会 | 社会とのコミュニケーション

国内外の取り組み

イノアックグループでは、文化支援・人材育成を中心とした社会貢献活動を通じて、人々の交流の場を設け、そこに生まれる心の交流の活性化をサポートしています。

○ 災害支援活動

イノアックグループでは有事の際に支援物資を寄贈して います。東北イノアックでは、東日本大震災の際に避難所 にマットレスやスポンジを寄贈しました。九州イノアック

と東北イノアックは2023 年7月に豪雨の災害に 見舞われた自治体の避難 所にマットレスを寄贈し ています。



○献血への意識向上で貢献

イノアックリビングベトナムでは、赤十字社と協同で 献血活動を実施しました。地域の患者のケアや緊急対応 をサポートし、地域社会の自発的な献血運動の発展に 貢献しています。

CONTENTS

○「どんぐり北広島ソフトテニス |を支援

西日本イノアックでは、ソフトテニスで全国優勝した 選手を擁する地域密着型クラブ「どんぐり北広島ソフト テニス」の支援を行っています。西日本イノアックが製造

するマットレスやまくら などの寝具をクラブに提供 し、チームの睡眠をサポート しています。



活動分類	概 要	
	品川区児童センターにキャラクタースポンジ2,000個を寄贈【イノアックコーポレーション 大崎事務所】	
11.14. 2. ±1	自治体のゆるキャラキッチンスポンジを寄贈【東北イノアック】	
地域貢献	九州および東北の豪雨の際に避難所にマットレスを寄贈【九州イノアック】【東北イノアック】	
	地域社会の自発的な献血活動の発展に貢献【イノアックリビングベトナム】	
	国内外の学生の日本留学・海外留学に奨学金を給付【イノアック国際教育振興財団】	
社会教育支援	商業高校の生徒を対象に商標研修を行い、ビジネス社会における知的財産権の啓蒙を行う【イノアックコーポレーション知的財産部】【東北イノアック】	
(社会教育支援、職場体験)	地元の中学生が安全衛生について学ぶことができる職場体験を実施【イノアックコーポレーション安城事業所】 工場見学の受け入れ【九州イノアック】	
	長年にわたり「イノアックイノベーションサポート」として、バレエやオペラへの協賛などの文化支援活動を継続的に実施【イノアックコーポレーション】	
芸術文化支援	目黒区美術館でのワークショップに、大小さまざまなウレタンフォームの端材を提供【東日本イノアック】	
	東京都品川区の直営ショップにおいて、クラシック音楽をお楽しみいただけるアフタヌーンコンサートを定期的に開催【カラーフォーム SLEEP MODE 大崎店】	
保健衛生・医療・健康	教育や障がい児・孤児の支援、てんかん、脳性麻痺、ダウン症の子どもたちの健康管理、リハビリテーションを実施。 その他、生活必需品の寄付、運営費の寄付による子どもたちの理学療法支援【イノアックポリマーベトナム】	
環境保全	環境保護への意識を高めるため、ハロンビーチの清掃活動(100名を超える従業員が参加)を実施【イノアックベトナム】	